



衆議院議員 玉城デニー FAXニュース (4/6号)



◆「主権回復の日」記念式典の中止・撤回を求める

県関係の野党国会議員でつくる「うりずんの会」は先月 23 日、県庁で記者会見し、政府主催の 4. 28 「主権回復の日」記念式典の中止・撤回を求める声明と、政府が名護市辺野古移設に向け、県に提出した埋め立て申請に抗議し、仲井真弘多知事に不受理を求める緊急声明も同時に発表した。

4. 28 声明は「戦後の対米従属外交の源流とも言うべき『屈辱の日』を祝うことなど絶対に受け入れられない。式典開催を改憲への地ならしにするなどもつてのほかだ」と指摘。「沖縄、奄美、小笠原を施政権から切り離しておいて、なにが主権回復だ、許せない」と怒りを強調し、「うりずんの会」全員が式典を欠席する考えを示した。

また埋め立て申請への抗議声明は「辺野古反対は県民の総意だ。県民を代表する知事は承認願書を受理することなく、沖縄防衛局に突き返すよう強く求める」としている。

翌 25 日には、仲井真知事に対し 4 月 28 日の「主権回復の日」記念式典の中止・撤回と、知事の不参加を求め、辺野古埋め立て申請強行提出問題で、願書の「不受理」および「不承認」の申し入れを行った。



*25 日、與世田副知事へ要請書を提出するうりずんの会

◆駐労議連等による防衛大臣政務官交渉を実施

3 月 19 日、駐労議連高木義明会長を筆頭に、那谷屋正義参議院議員、照屋寛徳衆議院議員、玉城デニー衆議院議員の 4 名が左藤章防衛大臣政務官の下を訪れ、格差給等経過措置継続の緊急要請行動を展開しました。一団

は、給与が下がる一方では従業員の労働意欲低下は必至で、基地機能に重要な役割を果たす従業員なくして日米の安全保障は立ちゆかなくなることをしっかり認識するよう左藤政務官に訴えました。

(全駐労広報より)



◆生活の党黨員サポーター募集!

○生活の党並びに生活の党沖縄県第 3 区総支部では、玉城デニーの活動を支える応援団である「黨員・サポーター」を大募集しています!!

◆黨員・サポーターとは…?

◆資 格:生活の党の政策にご賛同いただける 18 歳以上の日本国民であればどなたでも OK。

◆期 間:申込手続きが完了した日から一年間

◆特 典:◇生活の党代表選挙の投票権◇党本部広報誌の配布◇党の運営や活動、政策づくりへの参画(※黨員のみ)◇総支部及び党の活動情報のお知らせ◇党主催の講演会等イベント・ボランティアに参加

◆年会費:黨員 4000 円/サポーター 2000 円

.※その他、詳しくは下記の玉城デニー事務所まで!

配信希望・停止、その他ご意見などございましたらご連絡をお願いいたします。

平成 25 年 4 月 6 日 発行 : 玉城デニー事務所

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005